

大盛況！

復興！山田がんばっぺし祭り



9月15日から3日間開催の「復興！山田がんばっぺし祭り」。3日間で20以上ものステージイベントが行われましたが、最終日17日はIBCラジオ「民謡まわり舞台」山田町まつりの公開録音が行われました。午後のステージには美川憲一さんが特別ゲストで出演、およそ2000人の観衆を魅了しました。

この模様は9/24（月）、10/8（月）の二回にわたって放送します。（放送時間は19時～20時）

釜石発

復興事業者の宿泊施設 開業へ

沿岸の被災地では復旧・復興の工事を進める中で作業員の「宿泊場所」の確保が課題となっています。



そうした中、釜石では復興事業者向けの宿泊施設が来月末にもオープンする運びとなり19日その建設現場が公開されました。



釜石市只越町で建設が進められているのは70の客室に託児所や防災用の備蓄倉庫も備えた宿泊施設です。

総合リース業大手のオリックスが手がけました。6階建ての建物はユニットと呼ばれる部屋ごとのブロックを積み上げていく「SSUT工法」によって大幅に工期を短縮しているということです。

地上16メートルに位置する屋上には避難スペースも確保していて、避難ビルとしての役割も担います。完成後は地元の事業者が借り受け、来月末から営業を開始する予定です。

（9/19 ニュースエコーより）

東京発

復興ガールズ 銀座で発信



岩手県立大学の学生たちによる「復興 girls*」13人が17日から東京・銀座の「いわて銀河プラザ」で被災地企業の商品

を販売しました。イベントは被災地と首都圏の架け橋となって復興を支援したいとメンバーが企画したもので、去年に続き2回目の開催となります。販売されているのは大船渡産のワカメや高田松原の松を使ったキーホルダーなど被災地に関連する商品で、売れ行き・評判とも上々でした。（9/17 ニュースエコーより）

おおつち災害FM発

「さんりく元気ラジオ！」



臨時災害FM局をつなぐIBCラジオ「さんりく元気ラジオ！」（毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～）。19日は大槌災害FM発。今月から始まった新番組、毎回0の付く

日に行う町民参加による1時間生放送の新トーク番組『Oちゃんラジオ！かだってさあ〜』を紹介しました。9/10は、「大槌に道の駅は必要か？」、9/20は「女性だけで大槌について語ろう」というテーマで放送。これからの町づくりにも生かそうと、スタッフも全力投球です。

宮古発

「元気発信！ラジオ希望堂」



『被災地で前向きに取り組んでいる人の姿を紹介する、内閣府提供「元気発信！ラジオ希望堂」。（ラジオ毎週土曜午後0時40分～）今週（9/22）は、宮古市で、被災者を対象に傾聴

の活動をしている「宮古地域傾聴ボランティア・支え愛」代表の三浦章さんに活動の様子を伺います。

「IBC復興支援室だより」では、ラジオ、テレビなどIBCを通じて放送する、震災復興に関するさまざまな情報をピックアップし、リリース等を通じて定期的に発信・紹介します。
IBC復興支援室事務局（ラジオ放送部内）019-623-3122